

冬の到来を告げる野鳥 日本最大級の猛禽類 オオワシとオジロワシ



冬になるとこの地域にやってくる国の特別天然記念物、オオワシとオジロワシについて、洞爺湖有珠火山マイスターであり、アウトドアガイド BINOCOLO(ビノコロ)代表の福島豪さんに、お話を伺いました。

Q どこから来るの？

オオワシとオジロワシはロシアで繁殖(オジロワシは一部道内で繁殖)し、冬の寒さを乗り越えるために南下します。この地域には鮭がのぼる川があり、不凍湖の洞爺湖にはカモ類が集まります。ワシたちにとって魅力的な餌場があるのでここに立ち寄るのです。

Q どこで見ることができる？

洞爺湖有珠山ジオパーク内と言うと、^{ぬっきべつかわ}豊浦町貫気別川にあるインディアン水車公園周辺(マップ①)、伊達^{おさるがわ}市長流川河口(マップ②)、そして洞爺湖の北側、洞爺寺周辺(マップ③)です。

Q 何を食べるの？

貫気別川と長流川には、産卵後のサケ(ほっちゃんれ)を目当てに、魚を好むオオワシとオジロワシが集まります。むかし中島に多くの鹿がいた頃は、自然死した鹿の肉を狙ったオオワシ、オジロワシを中島でも見ることができました。現在は洞爺湖の北側で目にするがあります。なぜ洞爺湖の北側なのか？それは冬になると洞爺湖には北から風が吹き込み、湖の南側で波が荒れるため、穏やかな北側にカモ類が集まり、オジロワシはそれを狙ってやって来るのです。運が良ければカモを追うオジロワシを見ることができます。

Q オオワシとオジロワシの見分け方は？

実はオオワシも成鳥になると尾が白くなるため、尾の色だけでは区別が付きません。尾っぽの形に違いがあるのと、くちばしが太く、鮮やかな黄色をしているのがオオワシです。ぜひ実際に行って違いや特徴を観察してみてください。

冬の空に羽ばたく大きなシルエットを見つけたら、それはオオワシかオジロワシかもしれません。



□ 野鳥観察の持ち物

- ・双眼鏡
- ・カメラ

□ 注意点

- ・野鳥をおどろかせないように、静かに、近づきすぎないようにして観察すること。
- ・車で訪れる際は他の車の迷惑にならないよう駐車すること。
- ・立ち入り禁止場所/私有地には入らないこと。